

平成18年度 第8回 経営審議会議事要録

日 時 平成18年10月17日(火) 14:00～16:00

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 <委員>阿南理事長、矢田副理事長(学長)、重淵理事、出口理事、晴山理事(副学長)、国武理事(副学長)、羽田野理事(事務局長)、明石委員、稲積委員、下村委員、高橋委員、(奥監事)

配布資料

- 1 北九州市立大学授業料・入学金に関する改定について(案)
- 2 北九州市立大学の改革と経営
- 3 学部・学科別教員配置
- 4 北九州市立大学ビジネススクールの概要
- 5 最近の学生部の活動について
就職・キャリア支援について
- 6 新図書館構想案
- 7 平成17年度業務の実績に関する評価結果について(概要)
- 8 平成18年度北九州市立大学広報活動報告
- 9 教育研究審議会における審議経過

議事要旨

第1号 北九州市立大学授業料・入学金に関する改定について

・事務局より、授業料・入学金に関する改定案について提案、資料説明

- 学生から徴収した授業料をどのように学生への教育環境に反映するのか。
- 値上げによる増収分を出来る限り反映する方向で新年度予算を編成したい。

【議長】本議案について原案どおり承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告事項

- ・事務局より、以下の項目について報告された。
- (1) 北九州市立大学の改革と経営について
- (2) 学部学科再編について
- (3) ビジネススクールの設置状況について
- (4) 学生の活動やキャリア支援について
- (5) 新図書館構想について
- (6) 地方独立行政法人評価委員会評価結果について
- (7) 広報活動報告
- (8) 教育研究審議会審議経過
- (9) その他

【ビジネススクールの設置状況について】

- 大学として、知的財産の取扱いはどのように考えているのか。弁理士の確保はどう考えているか。
- 北九州産業学術推進機構（FAIS）に専門の弁理士を設置するなど、知財スタッフは配置している。

【学生の活動やキャリア支援について】

- 卒業生のうちフリーターと思われる者の実態把握はできているのか。
- 卒業後 5 年経った人に対して調査をしている。今後も卒業後のキャリアについての変化について調査したい。
- 在学生の進路の把握や指導はどのように行っているのか。
- 本学の学生の特徴の 1 つとして、職業観が希薄であることが揚げられる。職業意識の低い学生もいる。キャリアデザインを自分のこととして考えられる機会を数多く設けたい。また、キャンパスライフの中で自主活動を行うことにより自信をつける活動ができるような機会を提供していきたい。
- フリーターになるような学生は、就職相談にもアクセスしてこないのではないのか。実態が把握しにくいのではないのか。
- 例えば、就職が決まっていない 4 年生とその保護者にダイレクトメールを送付するなど、対策を講じている。
- 学生の活動、生活支援についてカウンセラーの役割が重要であるが、現在、何人配置しているのか。
- 北方 3 人、ひびき 1 人。北方では、週 3 日相談を行っている。一日平均 5～6 名の相談がある。
- 退学率は一見低いようだが、現実はどうなのか。
- 統計上では、勉学意欲の低下が一番の理由である。実態は、複合的な理由が複雑に絡み

合っている。

- 企業においても、採用してから辞める人が多く見受けられる。
- サークル活動をしている学生はどのくらいいるのか。
- おおまかに全学生の3分の1程度である。
- ある民間企業では、採用時に大学でのクラブ活動やアルバイト経験などを重要視すると聞いている。学業以外の活動でのプロセスを経て「人間力」を形成している学生を企業も求めている。そういった動機付けを大学でもしてほしい。
- ゼミの担当教員は学生にどのように関わっているのか。
- 人材育成の基本は、教師と学生の関係が重要だと認識している。昔と違い、学生も多様化している。今後、ゼミ教員、学生部のセーフティネット、キャリアセンターが連携して対応していきたい。加えて、19年4月からのカリキュラムの改編で、1年生からゼミを導入する予定であり、多角的に対応していきたい。

【新図書館構想について】

- 可能な限りフレキシブルに設計変更できるようにした方が望ましい。昭和の時代を担ってきた方々が、当時の資料を寄贈しようとしても、公立の図書館ではキャパシティの関係などで随分断られていると聞く。できるなら貴重な文献を大学で引き受けて欲しい。
- 図書館は拡大も含め、基本設計や実施設計をする際には、もう少し先の将来を考えながら行いたい。

(1)～(8)の項目について事務局から報告があり、審議し、了承を得た。

次回開催について

事務局から、次回審議会の開催について、平成19年3月に開催したい旨説明があった。